

Yoshinaka Press

議会報告 2019.JULY Vol.15

神奈川県議会議員

おざわ良央 よしなか



発行：おざわ良央事務所 〒250-0042 神奈川県小田原市荻窪166
☎0465-35-0001 📠0465-35-4666 🌐ozawayoshinaka.com

“始動”

平成31年4月7日、おざわ良央にとっては二期目の選挙。小田原市選挙区は定数2。一期目の前は無投票当選であったが、今回は3名出馬の激戦となった。

おざわ候補の必死の奮闘はもとより、陣営の総力を挙げての戦いで、厳しい難しい二期目を制した。

開票日、多勢の支持者が見守る中で、夜10時半過ぎ、NHK-TVが最初の“当確”を報じた。県内全選挙区の中でたった数名のみ。おざわ良央の二期目当選の瞬間である。

勝利に湧く支持者の皆さんの前で、おざわ良央の心からの感謝の言葉と二期目への決意が力強く述べられた。「必勝祈願だるま」への眼入れと万歳三唱で、選挙事務所の中は、一挙に大きな喜びに包まれた。

開票結果は、小田原市県議選史上最低の投票率 36.49%ではあったが、絶対得票率 46.10%とほぼ半数の皆様の支持がおざわ候補に集まるという圧倒的な 26,752 票を獲得。おざわ県議の一期四年の実績への評価と二期目への期待の大きさがうかがわれる好結果となった。



“当確”の報に
感謝と決意を述べる

四年の実績を 二期目へ繋げる!!



とき 🌟 令和元年7月26日(金) 午後6時より
ところ 🌟 お堀端コンベンションホール
会費 🌟 2,000円(お一人様)

★当選後、初の交流会です。お誘い合わせてお出かけ下さい。
★ご不明な点は、おざわ事務所にお問い合わせ下さい。

おざわ良央事務所 ☎0465-35-0001



良いまちにしたい

いちばん

を神奈川で

小田原

2 防災

万一の災害での想定外を無くすために、
今までの対応基準を見直さなくてはなりません。



- ①相模湾沿岸部の津波対策・
国道135号線（真鶴道路）の
高波被害対策について
地震や台風のたびの不安を無くしたい。
- ②酒匂川の堆積土砂対策・ダム放流情報の
市町村との連携
流域住民の皆さんの大きな心配事です。
- ③山王川・久野川等の中小河川整備の促進について
狩川、森戸川、中村川…、
中小河川とは言えあなごれません。
- ④箱根山の火山活動について
活火山ですから心配は絶えません。
- ⑤災害時の避難所運営体制の強化
トイレや食料の確保、
ボランティアの受け入れと、
課題山積です。



3 環境

生命や生活、そして地球環境を守る
“持続可能な循環型社会づくり”は
私達みんなの使命です。

- ①再生可能エネルギーの導入拡大について
小水力発電、ソーラーシェアリング、
電気自動車の普及等やることは一杯あります。
- ②エネルギーの地産地消と地域電力供給システムの整備につい
て
万一のとき、地域を守るためにも必要です。
- ③地球温暖化対策、微少粒子状物質（PM2.5）対策、
大気監視や発生源の低減について
- ④国連が掲げる持続可能な
開発目標SDGsの推進と市町村連携
県が旗振りするだけでなく
全市町村が足並みをそろえなければ。

1 まちづくり

くらしやすい豊かな
地域社会をめざします。

- ①県西地域の2市8町の広域連携について
人口減少、少子高齢化が進んでいます。
- ②小田原と伊豆、静岡を結ぶ高規格道路構想について
単なる渋滞対策でなく、富士山噴火や万一の災害に備えて。
- ③市内都市計画道路の早期整備について
東京オリンピック後の予算獲得に全力投球です。
- ④“未病の里、ピオトピア”を核とした県西地域の活性化
未病の里から、城、温泉、自然、グルメ…、
新しい交流を。
- ⑤市町村の持続可能な行政サービスの提供を支援
県の役割がますます大きくなります。
- ⑥県税収確保と歳出抑制について
県財政の健全化が急務です。

4 教育

未来を担う子供たちの
幸せな明日を創ります。



県立高校の耐震化工事

- ①全国学力・学習状況調査結果を活用し、
本県の小・中学生の基礎的学力の
定着度を高めることについて
全県的なレベルアップが必要です。
- ②県立高校改革の推進と地域の特色ある学校づくり
高校の統廃合と地元根づいた高校づくりは
地域の意向が大切です。
- ③県立高校耐震化率全国ワースト1の早急な解消を
特別な改修予算をかけ進めています。
- ④先進的な教育の推進と英語教育やインクルーシブ教育の拡充

5 福祉

高齢者の生きがいと健康づくり。
障がい児者の安心を高めます。



- ①施設の拡充と介護人材の確保・定着について
高齢者や障がい者が安心できる体制づくりは急務です。
- ②介護家族への支援体制の強化を
介護離職ゼロを目指します。
- ③障がい児を地域で育てる取り組みの強化について
地域のあたたかなまなざしが常に必要です。
- ④ヘルスケア・ニューフロンティアの推進について
超高齢社会を誰もが健康で長生きできる社会づくり。

6 女性の活躍と子育て

女性がいきいきと活躍し、
くらしやすい社会をつくれます。

- ①“女性の幸福度No1”を目指して
働く女性、専業主婦、子育て中のお母さん…と
それぞれ違いますが。
- ②女性の就業支援について
- ③県西地域の保育施設の充実と
保育士確保に向けた支援について
- ④小児がん、慢性じん炎等の特定疾患による
長期療養児童や保護者支援について

7 産業・観光

人が交流する、豊かな地域の創造が
まちの元気の基本です。

- ①県西地域に特化した
誘導策で企業誘致を
定住人口増のための基本です。
- ②中小企業、個人商店の振興と
農林水産業の持続的発展について
買い物難民は困ります。後継者難も心配です。
- ③鳥獣被害対策のシカ、サルからイノシシ管理計画の強化へ
農林業への被害は深刻です。
- ④新幹線ひかり号の小田原駅増停車について
難しい状況ですが、リニア開通前の県と
地元との一層の協働が必要です。
- ⑤多様な資源を活用した観光振興と、
おもてなし人材の確保と育成
外国人が何度でも訪れたくなる観光地づくりを。



支援の輪を拡げて



得票率 46.10%

当	おざわ良央	26,752 票
当	佐々木ナオミ	17,081 票
落	大村 学	14,195 票
	無効票	1,163 票

施策や事業実施に繋がったもの、動き始めて手ごたえを感じていること等々もありますが、まだまだ不十分です。言い足りませんが、どこまで皆様のご評価をいただけるか不安ですが、これからも、小田原のために、県西地域のために、おざわ良央は初心を忘れず活動し、主張し続けます。そして必ずや成果をあげます。ご期待下さい。